

今できることで
一歩を歩む



できることを重ねて未来を創ろう

感謝を込めて

新型コロナウイルスの影響により、様々な環境変化や不安、恐れ、多くの気持ちの揺れ動きが皆さんあった事と思います。そんな中、1年間活動を止める事無く続けて来られたことに、心より感謝致します。

最近では、ミルクがない、オムツがない、明日食べる物が無い、と言ったような相談を受けることも出てきました。そんな中、できることがあるということを見つめ、できることを実際に支援にかえることができ、結果として助けられる人がいるということは、「私達は微力かもしれない、けれど無力ではない。」という私達の合言葉の、正に「微力は力である」ということに他ならないと思っています。

皆様と共に活動できることを心から嬉しく、誇りに思い、深く感謝致します。



今後の活動の方針について

新型コロナウイルスは今だ収束が見えません。社会は揺れ動き、今後生活が苦しくなっていく人は増えていくのではないかと考えられます。すでにその兆候は見えてきているといっても過言ではありません。

NPOゆこびとは、来年度も引き続き子どもたちの生活を守る支援を続けていきます。今だからできることもあります。新型コロナウイルスについては、情報を見定め、対策を行いながら、今できることを重ねて活動していきたいと思います。

NPO ゆこびとからのお約束

- この活動は強制するものではありません。仕事の状況、家庭の状況、健康状況、それぞれの方が様々な要因を検討した上で、活動にご参加下さい。
- 活動上の安全対策に必要なマスク、フェイスシールド、手袋などの物品はゆこびとから支給させていただきます。
- 三密の環境にならないよう、十分に配慮した環境設定を行います。

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂

- 3密が避けられない環境での活動になっている。
- 一緒に料理という側面は重要でありながらも、緊急性がない。
- 食材提供や購入したお弁当による代用の支援が可能。

→安全が確保されるまで、鎌ヶ谷こどもだんらん食堂の開催は中止とする。

R3年の見通しとして、ワクチンが十分に有効である事、変異型コロナウィルスによる感染拡大がないことを前提に、ワクチン接種が進むであろう**10**月を目安に小規模での再開を検討する。

だんらんカフェ

- より支援の必要な子たちの場として形成
- 経済的な支援が必要な子、家庭環境により居場所としての支援が必要な子がいる
- 家族単位での参加が多い（現在**5**家族が参加している）

→基本的には開催継続。

→感染拡大の場合、経済的な支援が必要な子たちは食材提供のみにとどめる。

→居場所の支援が必要なこども数人に限り、ごく小規模でのカフェの開催継続。

感染状況が深刻な場合、中止を判断し、個別のフォローアップを検討する。

→開催場所は相互の感染リスクを防ぐために、はっぴーを活用する

だんらん創作レシピ本VOL. 3

VOL.3今年も無事に完成できそうです。

現在、編集作業中です。

3月末に印刷のはこびとなりますので、皆様のお手にお届けできるのは**4**月に入ってからになるかと思います。

フードヘルプかまがや設立趣旨書

フードヘルプかまがやは鎌ケ谷市を拠点に食材を通して高齢者・障害者・フードロスなど多面的な社会問題と地域資源を結び循環させることで食材の困窮世帯支援へとつなぐ社会循環を創る活動を行います。

この食べ物があふれる世界で、どうして食べ物に困る人がいるのでしょうか？ 私たちに不足していること、それはつながることです。

高齢者は買い物に行くことが大変になり、就労支援施設で野菜を作っても販売ルートの獲得が難しい。企業から食べられる食品が廃棄され、食べ物に困る人がいる。

多くの矛盾とあと一步でできること。

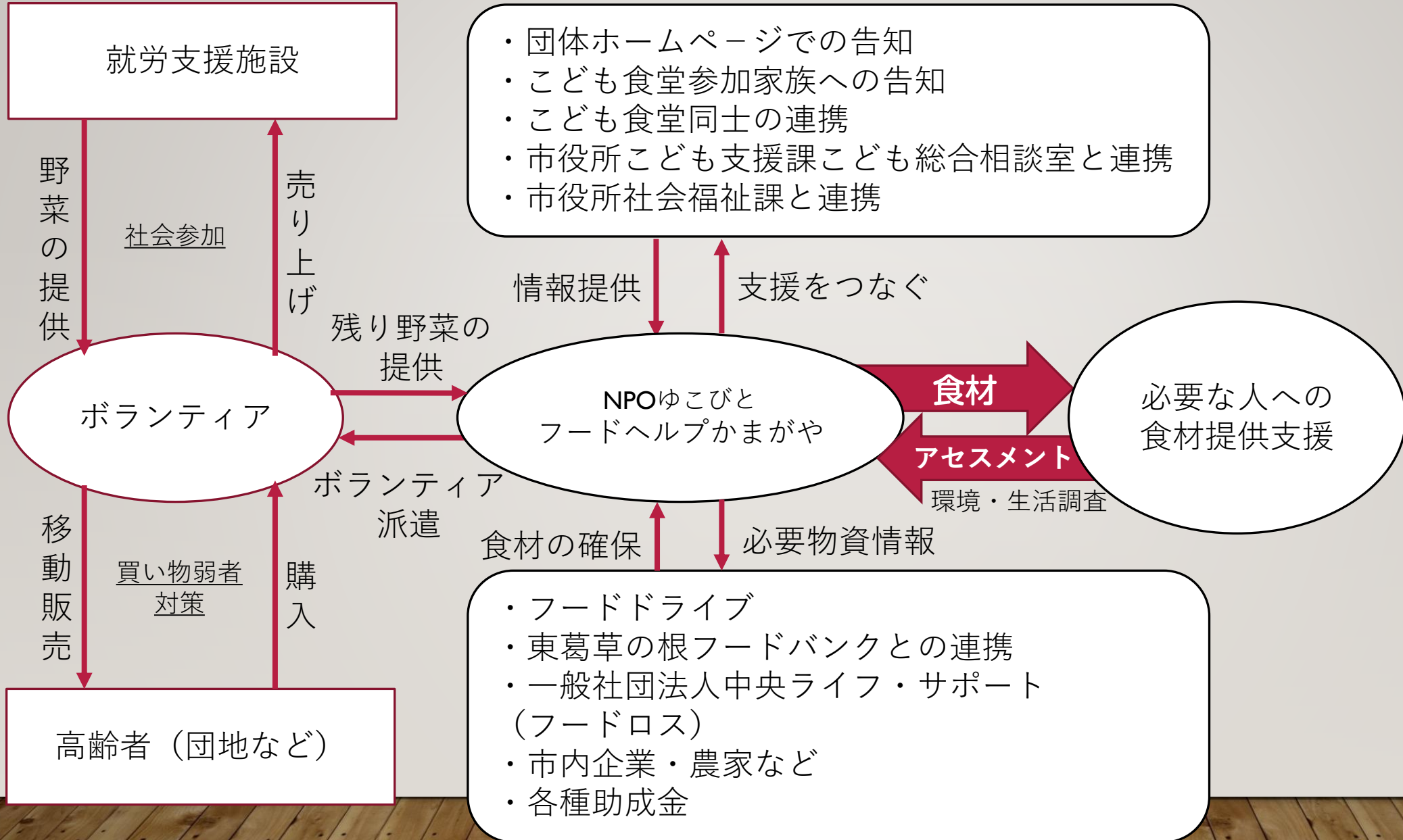
私たちは多面的な社会問題の不足部分をつなぐ役割を担うことにより、その一步の歩みを進めます。



フードヘルプ
かまがや

新事業…フードヘルプかまがや

食材を通じた社会循環の創造



食べ物に困っていませんか？

お米がない。食べる物が無い。

生活が苦しい。

フードヘルプかまがやは、そんな困っている方に
食材の提供という形で支援を行います。

ちゃんと御飯を食べて、
毎日を元気に過ごして欲しい。
それが私たちの願いです。

まずは御連絡下さい。

- ・TEL 050-5857-2536
- ・メール foodhelp@yukobito.life
- ・LINE 公式アカウント

@804rvvtg



- ・ホームページ

<http://foodhelp.yukobito.life>



フードヘルプ
かまがや

NPO 法人ゆこびと

フードヘルプかまがや申し込み用紙

申し込み者 名前					
住所					
連絡先	TEL		Mail		
申し込み理由	1, 経済的にゆとりがない 2, 失業している 3, その他 ()				
家族構成	大人		人	子供	人
名前 (任意)	続柄	年齢			

※受け取った食材については、企業などからの寄贈を含むため、
他者への譲渡販売はできません。

上記、理解致しました。

署名

R2年度フードヘルプかまがや活動・支援実績

《支援物資》

- フードドライブ**2**回実施
- フードヘルプに使用出来る助成金**20万×2**獲得（子ども食堂中間支援むすびえ）
- 東葛フードバンク お米を中心とする支援物資の使用
- フードロス食品の使用
- 他市民からのご寄付、お米などのご寄贈

《提供状況》

- 食材提供計**8**回（**45**日に**1**回） **23**家庭＋市の学習支援に参加している家庭**18**家庭
- 緊急支援 こども総合相談室からの依頼**3**件、コロナによる依頼**1**件

鎌ヶ谷市に子ども食堂を増やす活動

令和2年11月10日のゆこびと定例会議の今後の方針にて、下記の課題提起がありました。

- ・ 東部学習センターでの開催はもとより、人数が多すぎてスタッフ負担が多くなっていた。開催場所を他にも作るなど、分散化が必要か？

それを受けて、鎌ヶ谷市内の子ども食堂を拡充すべく、市役所と相談した結果、フォーラムや講座などを開催し、子ども食堂を行いたいと思っている人を育てる活動が必要であるとの結論に達しました。

そこで、国の休眠預金事業の助成金に申し込んだところ、内定が決まりましたのでご報告致します。だんらん食堂が活動できない今だからこそ、フードヘルプで繋がることが必要な今だからこそ、今後の為に必要な活動であると思います。

皆様のお力をおかしいただけますようお願い申し上げます。



NPOゆこびとの支援者を増やそう！

100人のサポーターを作る「100サポ」プロジェクト

今年度、鎌ヶ谷市の応援補助金が終了となります。来年度は休眠預金の助成金をとることができましたが、ずっと助成金や補助金を獲得できるとは限りません。今後の為に、**NPO**ゆこびとの資金基盤を強化することを考えていく必要があります。

来年度、フォーラムや講座を通して、多くの方に知ってもらう機会が増えるからこそ、今**NPO**ゆこびとを紹介できるパンフレットや定期的に寄付金を集められる環境設定などが必要となると考えています。

コロナだからこそやってきているチャンスもあります。それをうまく活用し、**NPO**ゆこびとの地盤固めを行って行けたらと思っています。

活動予定内容

- ・ **NPO**法人ゆこびと紹介パンフレット作製
- ・ 銀行振込用紙の作成、**WEB**カード決済による募金体制の構築
- ・ フォーラムでの支援者募集の活動



私たちは微力かもしれない、
でも無力ではない

今年も宜しくお願いします